事業者向け　児童発達支援･放課後等デイサービス自己評価結果

公表日：令和8年3月25日　事業所名：恵那市こども発達センター･おひさま　　対象人数（職員）6人　回収率100%

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員数が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指導内容に応じて部屋を使い分けるなどの工夫をし、今後も利用定員に応じた指導室の使い方に配慮します。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		管理者、児童発達支援管理責任者、有資格者（保育士）など、個別支援や専門支援を行うための職員を配置しています。
	③	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		階段に手すりを設置しています。トイレの改修は構造上難しさがありますが、行政へ働きかけを継続します。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎月業務目標を決め事業所内会議で検討したり、業務改善に努めています。
	⑤	保護者向け評価表により、保護者等に対してアンケート調査を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年保護者様向けの、「サービス利用に関するアンケート」を実施しています。改善点について引き続き検討していきます。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		アンケートの評価結果と改善点をまとめ、保護者への個別配布と施設内で掲示しています。今後はホームページの公表も行っていきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		指定管理事業者アンケートと年度末の事業報告により、市の評価を受けています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		同一法人内の他事業所と年間計画を作成し定期的に勉強会を行っています。東濃や県の研究会に加入し研修会に参加しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		児童発達支援管理責任者による保護者面談を行いアセスメントを実施しています。今後も保護者のニーズや発達課題を捉えた計画策定に努めます。
	⑩	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		共通のアセスメント表を用いて適応行動の状況を把握しています。また外部機関による発達検査の結果を参考にしています。
	⑪	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインに沿った計画策定に努めています。発達支援（本人支援）を中心に支援内容を検討し、家族支援や地域支援など子育てに関する援助や関係機関との連携が行えるよう引き続き努めていきます。

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		計画に沿った支援が行われています。子どもの実態や保護者ニーズに沿った支援提供に努めています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		事業所内会議にて活動プログラムについて検討をしています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもの実態やニーズに沿って、柔軟な活動プログラムを考え支援を行っています。より楽しめるよう創意工夫に努めています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個々の発達状況に合わせて、個別支援やグループ支援など組み合わせて支援を行っています。
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		より充実した余暇時間を過ごせるよう活動内容に工夫しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日の行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前に必ず打ち合わせを行い、活動内容や環境設営、配慮すべきことなどを十分話し合った上で支援を行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後、支援内容の振り返りや気付きなどを職員間で共有しています。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援終了後は個別に活動記録を作成し、支援内容を振り返ると共に、課題について整理しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児童発達支援管理責任者が6ヶ月ごとにモニタリングを実施しています。必要に応じ計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議には児童発達支援管理責任が参加しています。相談事業所が得た情報を共有するように努めています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		母子保健や子育て支援の市の担当課と常に連携し、情報共有すると共に必要に応じ相談対応しています。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		現在対象となる児童の通所はありませんが、同一法人内の相談支援専門員が市の担当課と連携し医療的ケア児のコーディネーターを行っており、必要に応じ連携を行っています。
	㉔	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		医療的ケア児が通所している場合においては、必要に応じ主治医や医療機関の助言を仰ぐように努めます。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）、発達支援事業所等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の意向を踏まえ、関係機関との間で支援内容等の情報共有を行っています。

連携関係機関や保護者との連携	㉖	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の意向により、就学に向けて子どもの状況や支援内容を記録し、スムーズな移行に役立てています。
	㉗	他の発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研究会に参加し公開療育などの助言を受けたり、研修などで支援の検討をしています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		同一法人内にある児童センターとの連携により、行事等の案内を行っています。
	㉙	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		必要に応じて、学校と連絡を取り合い情報共有をしています。
	㉚	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		恵那市自立支援協議会（こども部会）に参加します。
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		支援終了後に活動内容を伝えたり、所属の園や学校の様子を聞くなど相談援助に努めています。
	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		職員がペアレントトレーニングの研修を受け、年長児保護者対象に実施し保護者支援に努めています。
	㉝	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明書の内容を詳しく説明しています。支援内容や利用者負担について記載し、館内にも掲示しています。
	㉞	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別支援計画に基づき、支援内容が共有出来るようにしています。個別支援計画作成後、保護者より同意を得た上で個別支援計画書を配布しています。
	㉟	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談依頼に対し、管理者や児発管が随時相談対応するよう努めています。
保護者への説明責任等	㊱	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者向けの講演会を開催しました。引き続き保護者同士の連携の場を作るよう努めます。
	㊲	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者から担当者などに相談の申し入れがあった場合は、速やかに管理者や児発管が適切に対応できるよう努めていきます。
	㊳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		事業所の通信を毎月１回発行しています。行事予定やお知らせなど随時発信していきます。
	㊴	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報提供同意書の同意を得た上で、取扱いには十分注意し対応しています。

	㊵	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもの潜在的な能力や発達状況を踏まえ、気持ちを尊重した対応に心掛けています。また、保護者に対し情報提供する場合は、資料など用いて丁寧に説明するよう努めます。
	㊶	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の民生委員、児動委員に向けて同一法人内他児業所と共に事業紹介を行いました。
非常時の対応	㊷	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを策定し施設内に掲示しています。また、定期的に職員や利用者の避難訓練等を実施しています。
	㊸	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		地震や火災などの発生を想定した訓練を定期的に実施し、避難方法や避難経路等確認しています。
	㊹	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		通所開始時に、子どもの成育歴や健康状態など保護者にフェイスシートに記入していただき把握しています。
	㊺	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		毎年食物アレルギーに関するアンケートを行い、調理などの活動時に適切に対応をしています。
	㊻	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットは事故を未然に防ぐ上で重要と認識し、該当事例が起こった場合には速やかに記録し職員間で周知しています。
	㊼	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内で虐待防止委員会を設置し、毎月事案等の確認を行っています。チェックリストも毎月実施し、研修受講後に職員間で周知しています。
	㊽	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束に関する指針を策定しています。職員間での周知を行っています。